

療育研修会実施状況

香川県支部

参加数 45

テーマ ◆摂食・嚥下障害へのアプローチ
講師 病院職員 小西 みどり

◆在宅療養患者の生活
病院職員 佐々木 祐二

実施場所 徳島病院 筋ジス病棟 食堂



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

摂食・嚥下機能検査の重要性、楽しく美味しく、安全に食事が大切だと教えてもらうことができた。徳島病院に一度検査の後に行きたいと思う。

在宅患者の方々の生活についての紹介では、本人の方々がどのような生活の目的を持って暮らしている様子を知ることが参考になった。

筋ジストロフィー患者の就業についての調査研究も行っているとのことだったが、一番大切なのは患者自身の気持ちでないと強く感じた。

療育研修会

香川

支部

◆テーマ 摂食・嚥下障害へのアプローチ 講師 小西 千鶴

摂食とは食むこと。嚥下は飲み込む行為である。これらの行為は生命を維持していくために不可欠なもの。筋力衰えにより摂食・嚥下訓練は大変重要である。

徳島病院では、理学療法士6人、作業療法士2人、言語聴覚士1人が略してリハビリチームとして活動している。嚥下訓練は言語聴覚士が指導している。

毎週水曜日、サボト専門外来で検査1人60分、集中している。

食むことに問題があるのか、普段の食事の摂取は良いか、指導している検査を受けられるようにする。

◆テーマ 在宅療養患者の生活 講師 佐々木祐二

在宅療養の行方から生活の様子5人の方の状況紹介。

KY氏 高校卒業後、放送大学で学位取得に向けて取り組んでいる。将来の夢として活用し就業したいが目標は実現していない。

TM氏 看護学校卒業後在宅生活を毎週1年半、入所生活と在宅生活の長所短所についてお話し。介護ヘルパーの時間配分効率的に活用している。

YT氏 在宅療養中、短期入所(院)、電動車椅子サカ大会出場への強い思いで、主治医との関係、譲り受けたいものを理解が得られること。在宅生活中、介護ヘルパーの活用している。家族不在時、1人で時間大切。

NH氏 アイデックの決めた在宅生活を築きあげてきた。主治医との関係の大切さ。旅行許可、寝台車の中山競馬場や飛行機に乗って大旅行。

KS氏 ベルギー 大学卒業後、市役所26年間勤務も体力低下により退職。高齢の母親介護1233生活中心から今後、介護ヘルパーに入りたいこと。家族の負担を減らしていくこと。家族以外の人との触れ合いも大切。